



桜や桃を枯らす大敵／ クビアカツヤカミキリに ご注意ください

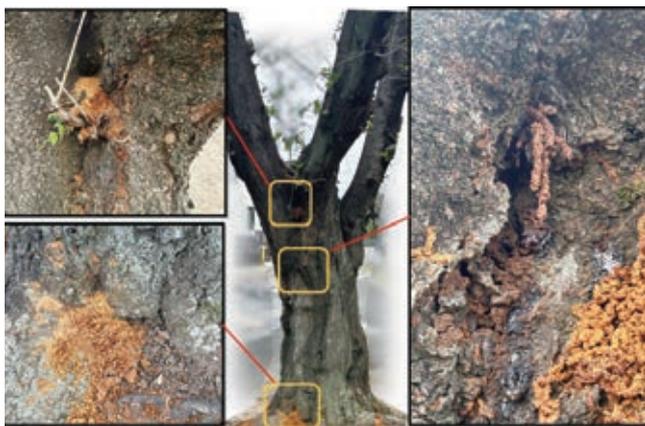
ID 1022416

県南西部で被害が拡大している特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」は、令和6年度に本市でも複数の被害や成虫が確認されており、今後さらに被害が拡大する恐れがあります。

成虫や被害の特徴を知り、早期発見と通報にご協力をお願いします。

☎環境保全課 ☎(632) 2405

●こんなフラスを見つけたら要注意！



■クビアカツヤカミキリの被害の特徴

- ▼幼虫が桜や桃、スモモ、ハナモモ、梅などのバラ科の樹木を中心に食害します。
- ▼幼虫は樹木内部を食害し、被害の進んだ樹木には左の写真のようなフラス（木くずとふんの混じったもの）が見られます。
- ▼幼虫は樹木内で成長してさなぎとなり、6～8月ごろに成虫となって樹木の外に出ます。
- ▼成虫は卵を大量に生むため、放置すると被害が急速に拡大します。

●こんな虫を見つけたら要注意！



- 体長
 - ▼約1.7～4cm。
- 成虫の特徴
 - ▼光沢のある黒い体。
 - ▼赤色の胸部。
 - ▼独特な甘い香りを出すことがある。
- 成虫発生時期
 - ▼6～8月ごろ。

トピック 特定外来生物とは？

国外由来の外来種で、特に生態系や人の生命・体、農林水産業に重大な被害を及ぼす恐れのある生きものは、外来生物法（※）で「特定外来生物」に指定されています。「特定外来生物」は、飼養・栽培・保管・運搬・輸入・譲渡（販売）などが原則禁止されています。

※ 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律

成虫やフラスを見つけた場合は、市民通報システム「宮ココ」から通報または環境保全課へ。



▲宮ココ

身近な特定外来生物にご注意ください

特定外来生物

オオキンケイギク

北アメリカ原産の多年草で、5～7月に鮮やかな黄色い花を咲かせます。栽培品として日本に持ち込まれ、各地で野生化しています。繁殖力が強く、他の植物の生育環境を奪っています。

自宅の庭などで見つけた場合は、根元から引き抜き、種子や根を落とさないようにビニール袋などで密封し、確実に枯死させてから処分してください。



ID 1022415

条件付特定外来生物

アカミミガメ・アメリカザリガニ

- 全国に定着し、生態系などへ大きな被害を与えています。
- 一般家庭でペットとして飼育することはできませんが、野外に放したり、逃がしたりすることは法律で禁止されています。
- 寿命を迎えるまで大切に飼育しましょう。

